

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書

【令和元年度（平成31年度）実施事業】



令和2年11月

上天草市教育委員会

【目 次】

1	点検及び評価制度の概要	1
(1)	目的	1
(2)	点検評価の対象	1
(3)	学識経験者の知見の活用	1
2	点検及び評価の結果	2
No.1	いじめ・不登校対策事業	3
No.2	起業家教育推進事業	4
No.3	英語教育推進事業	5
No.4	I C T教育推進事業	6
No.5	学校施設営繕事業	7
No.6	新大矢野図書館等整備事業	8
No.7	地域学校協働活動事業	9
No.8	人権教育事業	10
No.9	公民館総括事務事業	11
No.10	大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修事業	12
No.11	スポーツ合宿誘致事業	13
3	教育委員会の活動状況	14
(1)	教育委員選任状況	14
(2)	教育委員会会議	14
(3)	教育委員の主な活動状況	14
(4)	附属機関の状況	16
(5)	教育委員会の情報発信	16

1 点検及び評価制度の概要

(1) 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条第1項の規定により、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行うことが義務付けられました。また、これを議会に提出するとともに、公表することで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検評価の対象

点検評価の対象は、令和元年度（平成31年度）に実施した教育委員会に属する事業のうち、「上天草市第2次総合計画」や「上天草市第2期教育振興基本計画」を推進するために取り組んだ主要な11事業としました。

(3) 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定により、点検評価の客観性を確保するため、担当課が行った点検評価（自己評価）について、次の4名の学識経験者からご意見、ご助言をいただきました。

区分	氏名	所属等
学校教育関係	橋本 辰雄	元小中学校長
	田中 篤	上天草高等学校長
社会教育関係	田中 道範	社会教育委員長 子ども会連合会長
	松尾 眞映	社会教育委員 元中学校長

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の結果

<点検評価対象事業一覧>

No.	上天草市第2期教育振興基本計画		事業名	担当課
	施策方針	主要施策		
1	学校教育の充実	豊かな心の育成	いじめ・不登校対策事業	学務課
2		確かな学力の育成	起業家教育推進事業	
3			英語教育推進事業	
4		質の高い学校教育の推進	I C T教育推進事業	
5			学校施設営繕事業	
6	社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	社会教育の充実	新大矢野図書館等整備事業	社会教育課
7			地域学校協働活動事業	
8			人権教育事業	
9		公民館総括事務事業		
10		スポーツ文化の振興	大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修事業	
11	スポーツ合宿誘致事業			

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 1	事業名	いじめ・不登校対策事業			担当課 係名	学務課 指導係
	第2次総合計画	戦略目標	4.地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる	施策	16.地域の特色を活かした学校教育の充実	
	第2期教育振興基本計画	施策方針	1.学校教育の充実	施策	(1)豊かな心の育成	
	予算事業名	(839)自立支援事業			決算額	4,976 千円
	事業目的	上天草市立小学校及び中学校の「いじめ」、「不登校」問題等教育上の諸問題について、児童生徒、保護者等からの相談に応じ、児童生徒の健全な成長及び育成に寄与する。				
	事業内容及び実績	1 スクールソーシャルワーカーの配置 週2日×4時間(庁舎勤務) 学校、保護者及び児童生徒の求めに応じて相談業務を行う。 2 自立支援相談員の配置 週3日×4時間(庁舎勤務) 学校、保護者及び児童生徒の求めに応じて相談業務を行う。 3 スクールサポーターの配置 週29時間(上天草市立大矢野中学校勤務) 学校等の巡回を行い、問題行動を未然に防ぐ。				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	全児童生徒と教育相談を実施した学校の割合	単位	目標値	-	-	100
		%	実績値	100	100	-
	今の学年になっていじめられたことがあると回答した児童生徒割合	単位	目標値	-	-	0
		%	実績値	16.7	15.0	-
不登校児童生徒の出現率	単位	目標値	-	-	1.15	
	%	実績値	1.17	1.61	-	
成果達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い				
自己評価	複雑な要因に対し、専門の見地から児童生徒及び保護者並びに学校を支援することにより、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや発達段階に応じた適切な関わりを実現することができ、いじめや不登校問題の解消改善につながった。					
課題	・専門的知識を有する業務のため、継続的な人材確保 ・数値的な成果が出しにくい					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	専門的な見地からの児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援については、児童生徒の発達段階に応じた適切な関わりや保護者支援が実現できる。また、教職員については、不登校児童生徒に係る時間を軽減することができ、その時間を教材研究や生徒との面談等の時間に充てることができるとともに、経験のない相談や要望を家庭から受けることによる心理的負担を軽減することができるため、継続して取り組みたい。					

学識経験者の意見

- ・相談員等と学校がより連携することで、いじめや不登校をなくす取組を進めていただきたい。
- ・いつも見守り活動をしていただいている地域の方々など、地域と学校が連携することで、諸問題への早期対応が図られる場合もあるので、地域を巻き込んだ取組もお願いしたい。
- ・いじめられた割合を減らすという考え方に立つと、いじめを認知しようという学校職員の動きが薄れてしまう場合がある。いじめをより認知をして、それをいかに解決するかという考え方が大事だと思う。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 2	事業名	起業家教育推進事業			担当課 係名	学務課 指導係
第2次総合計画		戦略目標	4.地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる	施策	16.地域の特色を活かした学校教育の充実	
第2期教育振興基本計画		施策方針	1.学校教育の充実	施策	(2)確かな学力の育成	
予算事業名		(1203)ICTを活用した起業家教育と地方創生プラン			決算額	2,086 千円
事業目的		<p>本事業は、キャリア教育の一環として、「起業家精神(チャレンジ精神、創造性、探求心等)」や「起業家的資質・能力(情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等)を有する人材を育成するため、市内中学校において起業体験活動を実施し、その充実を図る。</p> <p>本事業は、国の地方創生交付金を活用して、3年計画で実施する事業である。</p>				
事業内容及び実績		<p>中学校起業家教育事業</p> <p>(1)1年目となる令和元年度(平成31年度)においては、主に事業の理解促進を図るためのガイダンス、地域産業団体等の講演等を実施</p> <p>(2)中学生が主体となって具体的な事業計画の検討・作成</p> <p>(3)取組みが進んだ中学校では、特産品の試作 このような取組を行いながら、学校教育手法への理解が進み、次年度へつなげる活動ができた。</p>				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	将来、上天草市の役に立ちたいと思う生徒の割合	単位 %	目標値 実績値	— 18	30 64	35 —
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い		<input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> 成果が低い		
自己評価	起業家体験活動を実施することで、地域を見つめ直す機会となり、地域の課題や特徴に対する独自のアイデアなどが創出され、まだ取組は計画作成段階であるが、将来のことを想像させる体験活動が実施できたと考えている。中学生に実施したアンケート調査で「将来、上天草市の役に立ちたいと思う生徒の割合」は64%と高い数値となり、効果が高い事業であると評価できる。					
課題	中学校において、限られた授業時数の中で事業を実施することとなるため、学校の協力体制と計画的な事業の実施が必要である。					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	今後は、中学生が策定した活動計画に基づき模擬会社設立、商品開発、資金回収、販売や事業実施、決算といった起業の実体験を一通り実施するなど、更に実践的な取組を進めるため継続して取り組みたい。					

学識経験者の意見

- ・教職員だけでは起業家的思考を育てる教育は難しいので、大学教授や商工会等の地元の方々が外部講師となり教えていただくというような取組を、中高一貫で取り組むという事は大事だと思うので、継続的に取り組んでいただきたい。
- ・上天草市では、起業家教育活動に力を入れて行っている地域なんだということを内外にアピールするため取組活動をいろいろな場面で紹介していただきたい。
- ・起業家教育は、地元愛を育むことにもつながっていることから、今後も取り組むべき事業である。
- ・起業家教育は、教職員の育成にも大きな効果がある。
- ・起業家教育の重要性について、教職員にも啓発をしていくことが必要ではないか。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 3	事業名	英語教育推進事業			担当課 係名	学務課 指導係
第2次総合計画		戦略目標	4.地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる	施策	16.地域の特色を活かした学校教育の充実	
第2期教育振興基本計画		施策方針	1.学校教育の充実	施策	(2)確かな学力の育成	
予算事業名		(327)外国人青年招致事業 (910)学力向上対策事業			決算額	22,354 千円
事業目的		今後想定されるグローバル社会を生きる子供たちにとって、英語力の充実は必須であり、本市の児童生徒の英語力の水準及び英語学習に対する意識・意欲の向上を図るため、学習環境を整備する。				
事業内容及び実績		1 E-Friends School の取組み(小学校1～2年生) ALT(外国語指導助手)を派遣し年間10時間のカリキュラムで英語活動を実施 保育園で行っているE-Friends(幼児英語教育)を引き継ぎ、小学校3～6年生の外国語活動へとつなぐ 2 外国語活動の推進(小学校3～6年生) ALTの活用、学校ICTの活用 3 英語教育の推進(中学校) ALTの活用、学校ICTの活用 中学校英語検定チャレンジ事業補助金の活用(中学3年生を対象) (英語検定受験料の3分の2を補助) ※今年度受験者数 62人/198人				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	英語の学習が好きと答える生徒の割合(中2)	単位	目標値	-	70	70
		%	実績値	37.6	50.3	-
	英検3級以上相当の割合(中3)	単位	目標値	-	50	50
%		実績値	32	22	-	
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input checked="" type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い				
自己評価	ALTの活用については、平成30年9月から5人体制(1人増)になり、より多くの授業に参加することができるようになった。なお、中学校でのスピーキングやヒアリング指導への需要も高い。また、英語検定受験料の補助をすることで、保護者の負担が減り、受験へのハードルを下げることができた。					
課題	・教員の指導力の向上 ・小学校の外国語活動の授業から中学校の英語授業へのつなぎ					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	英語の学習意欲や学力を高めるためには継続した取組が必要である。今後もALTの専門性を授業に活用することで、児童生徒の英語学習に対する意欲が高まり、英語が「わかる・できた」を実感できるような授業となることが期待できる。また、外部検定試験の受験機会を増やすことで、目標をもって学習に取り組むことができるよう環境を整えていきたい。					

学識経験者の意見

- ・教員の指導力の向上も大事だが、子どもたちにやる気を出させることも大事。
- ・英検の受験率や合格率を高めるために、教室等の身近なところに英検の学習書を設置してみてはどうか。
- ・学んだ英語を発表する機会を増やしてほしい。
- ・英語への関心を高めることが最も重要なことだと思う。そのためには異文化に触れることが楽しいという経験が大事で、そのような経験により外国の人とコミュニケーションをとるために子どもたちが自然に英語を学びたいと思うようになることから、小学校の英語教育は非常に重要。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 4	事業名	ICT教育推進事業			担当課 係名	学務課 教育企画係
第2次総合計画		戦略目標	4.地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる	施策	16.地域の特色を活かした学校教育の充実	
第2期教育振興基本計画		施策方針	1.学校教育の充実	施策	(4)質の高い学校教育の推進	
予算事業名		(434)IT教育推進事業 (505)IT教育推進事業			決算額	99,447 千円
事業目的		次世代を生きる子どもたちにとって情報活用能力を身につけることの重要性が高まっていることから、学校におけるICT(情報通信技術)環境整備を推進するとともに、ICT機器を活用し、分かりやすく、理解が深まる学習を実践することで、児童生徒の思考力、表現力、問題解決力等の育成を図る。				
事業内容及び実績		1 市内小中学校のICT環境の整備 (1) 高速無線LAN(Wi-Fi) ・全小中学校の普通教室及び一部の特別教室にWi-Fiを整備 (2) 電子黒板 ・小学校 67 台、中学校 4 台を普通教室及び特別教室に整備 (3) タブレットPC ・小学校児童用 344 台(クラスの3人に1台程度)を整備 (4) ICT支援員の配置 ・配置回数 全小学校へ月2回程度 2 教職員向けの研修会の実施 ICT機器の活用方法についての研修会 2回(校内研修は随時実施)				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	タブレットPC導入 (小学校)	単位	目標値	-	3人に1台程度	1人1台
		-	実績値	-	3人に1台程度	-
	タブレットPC導入 (中学校)	単位	目標値	-	-	1人1台
		-	実績値	-	-	-
高速無線LAN整備 (全17校)	単位	目標値	-	17	-	
	校	実績値	-	17	-	
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い		<input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> 成果が低い		
自己評価	・上天草市学校ICT環境整備計画に基づき、Wi-Fiの整備など計画的な整備を行うことができた。 ・タブレットPCの導入及びICT支援員の配置により、ICTを活用した授業づくりを行うことで、児童の授業に対する関心や学習理解を高めることにつながった。					
課題	・ICTを活用した学習活動の頻度の向上 ・ICTを活用した家庭学習の充実					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	国のGIGAスクール構想に基づき、今年度には1人1台のタブレットPCを整備することとしており、学校内のICT環境が整うことから、これらを活用し、ICT教育を更に推進するため、継続して取り組みたい。					

学識経験者の意見

- ・家庭でもICTを活用した学習ができるような環境が整えられるとよい。
- ・教員の指導力に差が生じないような取組やICT機器の更新時の対応など将来を見据えて取組を進めていただきたい。
- ・導入したICT機器をどのように活用していくのが重要。
- ・家庭におけるICTを活用した学習においては、子どもたちに学力の格差が生じることがないように検討をお願いしたい。
- ・学校においては、ICTの活用が苦手な教員もいると思うが、得意な教師が率先してICTを活用した授業を実施し、授業例が積み重なることで、学校全体でのICTの活用が進むと思う。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 5	事業名	学校施設営繕事業			担当課 係名	学務課 施設係
第2次総合計画		戦略目標	4.地域ぐるみで子育て・子育てしやすいまちをつくる	施策	16.地域の特色を活かした学校教育の充実	
第2期教育振興基本計画		施策方針	1.学校教育の充実	施策	(4)質の高い学校教育の推進	
予算事業名		(423)小学校校舎営繕事業 (494)中学校校舎営繕事業			決算額	818,639 千円
事業目的		各小中学校の建物及び設備等の施設整備(修繕・改修・改築等)を行い、安全安心で快適な教育環境を確保し、児童生徒の学力向上並びに教職員の就業環境の改善を図る。				
事業内容及び実績		学校施設の適正管理 (1)市内小中学校の施設整備 小中学校空調設備の整備 小中学校ブロック塀の改修 小中学校屋内運動場非構造部材の落下防止対策 中南小学校特別教室(音楽室)の新築 登立・上小学校の消火栓配管の改修 上小学校教室棟改築に係る管理棟の改修及び教室棟の解体 小中学校施設の各種修繕(小学校57件、中学校34件、計91件) (2)学校施設長寿命化計画の策定 学校施設長寿命化計画策定に係る委託業務の履行				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	施設整備不良による健康 被害及び事故件数	単位	目標値	-	0	0
		件	実績値	-	0	-
	普通教室への空調設備の 整備 (既に整備済みの龍ヶ岳小を除く)	単位	目標値	-	16	-
校		実績値	-	16	-	
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い				
自己評価	施設整備不良等による健康被害や事故等もなく、1年間、適正な施設管理を行うことができた。中でも長年の懸念事項であった、小中学校の空調設備の整備完了が大きな成果となった。					
課題	学校施設のほとんどは、築後25年を経過し、老朽化が著しく、何らかの改修等を要する状態であり、その状態は年々悪化している。					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	学校規模適正化基本計画並びに学校施設長寿命化計画等を考慮した施設の整備方針を検討しつつ、計画的かつ効率的な施設整備を推進し、継続して適正な施設管理に取り組んでいく。					

学識経験者の意見

- ・全学校にエアコンが設置され、快適な環境で授業ができるようになってよかった。
- ・給食調理場にエアコンが設置されていない学校では、食中毒などの衛生面が心配。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 6	事業名	新大矢野図書館等整備事業			担当課 係名	社会教育課 生涯学習係
第2次総合計画	戦略目標	5.心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる	施策	21.身近な地域の学びと社会参加の場づくり		
第2期教育振興基本計画	施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	施策	(1)社会教育の充実		
予算事業名	(1204)大矢野図書館建設事業			決算額	508 千円	
事業目的	図書館機能の充実と大矢野森記念図書館の老朽化が著しいことから、新大矢野図書館等整備の検討を進めてきたところ。「上天草市第2次総合計画後期基本計画」において、今後5年間で主に推進される取り組みとして、「宮津地区周辺の観光拠点整備・充実」、「図書館等を活用した地域の学びと交流拠点の充実」、「天草四郎ミュージアムの活用」、「地域の歴史資産の調査研究・保存・発信」について示されたことから、天草四郎公園内で図書館を中心に歴史資料室や交流スペースを併せもつ施設の整備を行い、社会教育の充実と地域文化の振興を図る。					
事業内容及び実績	1 新大矢野図書館等の整備 (1)天草四郎公園内に図書館、歴史資料室及び交流スペースを整備 ・令和元年度(平成31年度) 新大矢野図書館等整備基本計画の策定、基本設計プロポーザルの実施 ・令和2年度 上天草市歴史資料室基本計画の策定、実施設計業務委託、造成工事の実施 ・令和3年度 造成工事及び建設工事の実施 ・令和4年度 建設工事、外構工事の実施 ・令和5年度 10月以降に開館予定					
成果指標	指標 / 年度		平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	
	新大矢野図書館等整備基本計画の策定	単位	目標値	-	1式	-
		-	実績値	-	1式	-
	基本設計プロポーザルの実施	単位	目標値	-	1式	-
		-	実績値	-	1式	-
	上天草市歴史資料室基本計画の策定	単位	目標値	-	-	1式
-		実績値	-	-	-	
成果達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い			<input type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> 成果が低い		
自己評価	令和元年12月に新大矢野図書館等整備基本計画を策定し、令和2年1月から3月まで基本設計のプロポーザルを実施して、業者の選定を行うことができた。					
課題	・図書館の利用者数の増加 ・図書貸出冊数の増加					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	○					
新大矢野図書館等整備基本計画に基づき事業を進めることとしており、今年度は基本設計を完了させ、実施設計及び造成工事を発注する予定である。本事業の目的である社会教育の充実と地域文化の振興を図るには、施設の供用開始が必須であることから、着実に事業を進めていく。						

学識経験者の意見

- ・図書館の利用者を増やすための取組の推進もお願いしたい。
- ・大矢野森記念図書館より利便性が高まるので、利用者が増えると思う。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 7	事業名	地域学校協働活動事業			担当課 係名	社会教育課 生涯学習係
第2次総合計画		戦略目標	5.心身ともに健康でいきいきと暮らすまちをつくる	施策	21.身近な地域の学びと社会参加の場づくり	
第2期教育振興基本計画		施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	施策	(1)社会教育の充実	
予算事業名		(1201) 地域学校協働活動事業			決算額	3,642 千円
事業目的		地域と学校の連携・協働により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る。				
事業内容及び実績		<p>1 地域学校協働活動推進員の委嘱 各小中学校長から推薦を受けた地域の方を、教育委員会が地域学校協働活動推進員として委嘱し、地域と学校との連携・調整や活動の企画を実施している。</p> <p>2 地域未来塾の実施 学習塾などの民間教育事業者、元教員及び大学生等、幅広い地域住民の協力を得て、諸事情により学習が困難であり、学習習慣が十分定着していない中学生への学習機会を提供し、学力及び地域の教育力の向上を図るもの。</p> <p>(1)実施校 大矢野中・姫戸中・龍ヶ岳中 (2)教科 英語・数学 (3)回数 8月～2月までに大矢野中学校20回、 姫戸及び龍ヶ岳中学校17回実施 (4)支援員 大矢野中5人、姫戸中・龍ヶ岳中1人</p>				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	地域ボランティア参加者数	単位	目標値	-	18,000	19,000
		人	実績値	-	15,572	-
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い		<input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> 成果が低い		
自己評価	・各学校区へ推進員を配置し、地域の教育力の向上が図られた。 ・地域未来塾の参加者へアンケートを実施した結果、満足度の高いものとなり、学力向上へつながった。					
課題	・統合から間もない学校は学校区が広域となるため、積極的な地域学校協働活動が進んでいない学校もある。 ・地域未来塾の学習支援員の確保が難しい。					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
			○			
より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成し、地域と学校が連携・協働した地域学校協働活動を推進することを目的とした、地域学校協働本部を設置し、年に数回コーディネート会議を実施し、意見交換や活動の企画・評価・検証を行っていく。						

学識経験者の意見

- ・地域学校協働活動事業でも、各地域の社会教育委員を活用していただきたい。
- ・地域未来塾の学習支援員の確保については、地元の退職校長会と連携して取り組まれてはどうか。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 8	事業名	人権教育事業			担当課 係名	社会教育課 生涯学習係
第2次総合計画		戦略目標	6.多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる	施策	26.交流を通じた市民相互の連帯感の醸成	
第2期教育振興基本計画		施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	施策	(1)社会教育の充実	
予算事業名		(570) 人権教育事業			決算額	3,887 千円
事業目的		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第5条の規定により、人権教育・人権啓発を行うことは地方公共団体の責務となっており、市民が正しい人権意識を持ち、基本的な人権を守り、互いに尊重し、共生する社会づくりを図る。				
事業内容及び実績		1 地域人権教育指導員による人権講話を実施 実施回数:19回、参加人数:854人 2 人権講演会の実施 参加人数:450人 3 上天草市人権教育推進協議会の運営 (1)学校教育部会 レポート研修 参加人数:26人 (2)社会教育部会 同和問題についての研修会 参加人数:6人 (3)就学前教育部会 保育士会と合同で研修会実施 参加人数:102人 (4)行政部会 職員研修を実施 参加人数 49人				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	人権が守られていると思う 市民の割合	単位 %	目標値 実績値	-	52.5 48.7	54.3 -
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い				
自己評価	・事業の周知を定期的実施し、地域人権教育指導員による人権講話や出前講座を実施することができた。 ・人権講演会では、毎年アンケート調査を実施し、講演内容等を検討しており、満足度の高い内容となったため、市民の人権意識の高揚につながった。					
課題	・講演会等への若い世代の参加者が少ない。 ・新たな人権問題等の学習機会の充実					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	より幅広い世代の人権意識の高揚を図るには、周知方法及び内容等を検討していくことが必要。また、感染症等の流行により新たな人権課題が問題視されているため、人権啓発にも力を入れて取り組んでいきたい。					

学識経験者の意見

- ・コロナウイルス感染症に関連する不当な差別、偏見等の問題については、社会全体の取り組みが必要だと思えるので、強力に進めていただきたい。
- ・コロナウイルス感染症については、様々な状況を想定し対応していくことが必要。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 9	事業名	公民館総括事務事業			担当課 係名	社会教育課 生涯学習係
第2次総合計画	戦略目標	(計画の推進)1.市民と行政の協働によるまちづくり		施策	39.自主的な住民活動への支援 /多彩な市民交流の拡大	
第2期教育振興基本計画	施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興		施策	(1)社会教育の充実	
予算事業名	(540)公民館総括事務事業			決算額	8,354 千円	
事業目的	市民の健康の維持、福祉の増進に寄与することを主な目的として、定期的に生涯学習講座を開催する。また、13の地区公民館の管理、事業の支援及び指導助言などを行うことによって、市民への社会教育活動の推進を図る。					
事業内容及び実績	<p>中央公民館主催事業延べ参加人数:628名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき成人大学」 年14回実施 延べ参加人数:390名 ・「中央公民館講座」 上天草市の歴史や文化を学ぼう 年8回実施 延べ参加人数:182名 ・「小・中学生書き初め席書大会」 年1回実施 参加人数:6名 ・「生涯学習発表会」 展示の部実施 延べ来場者50名 					
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	中央公民館主催事業延べ 参加者数	単位 人	目標値 実績値	- 840	520 628	628 -
成果達成状況	<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い					
自己評価	令和元年度(平成31年度)の中央公民館主催事業延べ参加者数は目標値を超えているが、新型コロナウイルス感染症予防対策で、2月から3月にかけて一部の講座を開催できなかったため、前年度の実績を超えることができなかった。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館主催事業への若い世代の参加者が少ない。 ・中央公民館主催事業への新規の参加者が少ない。 					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	○					
今後の方向性	新型コロナウイルス感染症予防対策として、講座などは新しい生活様式を取り入れて実施する。また、中央公民館主催事業への参加者が増えるような魅力のある講座などを実施し、市民の社会教育・生涯学習活動をより充実させるため、継続して取り組んでいきたい。					

学識経験者の意見

・コロナウイルス感染症が収束しないことには、積極的に事業は進められないと思うが、参加者を増やすための工夫をしながら取り組んでほしい。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 10	事業名	大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修事業			担当課 係名	社会教育課 スポーツ推進係
第2次総合計画		戦略目標	6.多様な交流によりふるさとへの愛情と誇りを育てる	施策	24.スポーツ活動を通じた市民交流の拡大	
第2期教育振興基本計画		施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	施策	(3)スポーツ文化の振興	
予算事業名		(631)総合スポーツ公園事業			決算額	18,227 千円
事業目的		大矢野総合スポーツ公園グラウンドは、平成元年に落成から30年を経過し、排水機能の低下等によりグラウンド表面の損傷が激しく、安全にスポーツを楽しむ状態が損なわれている。 今回、市民のさらなる健康増進を目的としたスポーツ施設へリニューアルするため、グラウンド舗装改修をはじめジョギングコースの整備等の工事実施に向けた設計業務を委託するもの。				
事業内容及び実績		大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修工事測量実施設計業務委託 (1)平成30年度に策定した改修基本計画に基づいた設計業務内容 ア 測量業務 イ 設計業務 (2)成果物 ア 業務報告書 イ 電子データ (3)工事計画内容 ア グラウンド改修 27896 m ² (内野 5666 m ² 、天然芝 22230 m ² ・ジョギング走路 700m×2m) イ 概算工事費 494,019 千円				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	グラウンド改修	単位	目標値	-	工事設計図書の完成	工事の実施
-		実績値	-	工事設計図書の完成	-	
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い		<input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> 成果が低い		
自己評価	事業費が膨大となるため、大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修計画に基づいた事業実施は難しいが、課題とされているグラウンド舗装及びジョギングコースの整備等、重要な改修工事は令和2年度に実施できる見込み。					
課題	今回の改修工事で実施できない施設整備(LED照明、弓道場、テニスコート、駐車場、トイレ)についての必要性の精査					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	・令和2年度から令和3年度にかけて改修工事を実施する。 ・残された施設整備案について必要性を精査し、改修計画を見直していく。					

学識経験者の意見

- ・大矢野総合スポーツ公園グラウンドの改修計画について、施設に対し利用者から工事スケジュール等の問い合わせが多いと聞いているため、市民へ改修計画の十分な周知を行ってほしい。
- ・現在のグラウンドは、各種大会等に利用されているが、雨が降ってもすぐ使えず利用者に不便をかけることもあると聞いているため、改修により改善されることを期待している。

令和元年度（平成31年度）事業 点検評価シート

No. 11	事業名	スポーツ合宿誘致事業			担当課 係名	社会教育課 スポーツ推進係
第2次総合計画		戦略目標	1.観光需要と観光消費を拡大する	施策	7.スポーツ合宿や教区・研修旅行など団体旅行の営業拡大	
第2期教育振興基本計画		施策方針	2.社会教育の充実と地域文化・スポーツ文化の振興	施策	(3)スポーツ文化の振興	
予算事業名		(894) スポーツ合宿誘致事業			決算額	7,109 千円
事業目的		スポーツ合宿及びスポーツ大会の誘致、開催による市全体のスポーツ技術等の向上、市民の市内外のスポーツ選手との交流及び交流人口の拡大による地域経済の振興を図る。				
事業内容及び実績		1 スポーツ合宿等誘致事業 (1)プロモーション活動 ア 合宿・大会誘致のセールス活動 6回 イ 競技関係者 6回 ウ 旅行会社等 1回 エ 情報誌への掲載、チラシ作成、TV 内告知3回 (2)プロスポーツの誘致 ア 熊本ヴォルターズ公開練習・バスケット教室 イ 九州プロレス興行 (3)高校女子バレー合宿 3回 2 合宿等誘致助成金の交付 本市で合宿し、補助要件に該当する団体に対して、助成金を交付。				
成果 指標	指標 / 年度			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
	スポーツ合宿利用団体数	単位	目標値	85	85	45
		団体	実績値	106	109	-
	助成金交付団体数	単位	目標値	85	85	25
件		実績値	57	60	-	
成果達成状況		<input type="checkbox"/> 確実な成果を出している <input checked="" type="checkbox"/> 一定の成果を出している <input type="checkbox"/> やや成果が低い <input type="checkbox"/> 成果が低い				
自己評価	・主に、松島総合運動公園のテニスコートやサッカー場の利用が伸びており、目標を超える利用があっている。 ・施設情報、合宿誘致について情報誌掲載やチラシの作成、TV 番組内での告知、直接大学へのセールスやサークル代表者への営業を行ったことで効果が出た。					
課題	屋内競技の利用があまり増えていないため、冷暖房を備え、一年を通して快適に利用できる施設である旨を周知し、利用促進に繋げる必要がある。					
今後の方向性	総合評価	拡充	継続	見直し	縮小	廃止
	令和2年度については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、目標達成は難しいが、翌年度以降も引き続き施設を利用した合宿・大会を行ってもらえるよう、利用回復に向けた事業を新たに展開しつつ、セールス活動を地道に継続して取り組んでいく。					

学識経験者の意見

- ・スポーツ合宿の誘致については、高校女子バレーの合宿を中心に成果が上がっていることから今後も積極的に取り組んでほしい。
- ・県内外から高校女子バレーの強豪校が参加する合宿が開催されているが、バレーボールをしている地元の小中学生と合宿参加校との交流等ができれば、市のスポーツ振興にもつながると思うので、地元の子どもたちを巻き込んだ取り組みにしてはどうか。
- ・小学校の部活動が社会体育に移行し、小学生が運動する機会が少なくなっていることから、体を動かす機会を増やしてほしい。
- ・合宿誘致を含め、各種スポーツの練習会や大会の開催なども、市の体育協会や総合型スポーツクラブと連携して進めてはどうか。

3 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員選任状況

【委員名簿】

令和2年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	高倉 利孝	H29.7.2～R2.7.1
委員 (教育長職務代理者)	山下 勝一	H28.7.2～R2.7.1
委員	裕本 修吾	H29.7.2～R3.7.1
委員	濱崎 千賀子	H30.7.2～R4.7.1
委員	辻本 幸之助	R1.7.2～R5.7.1

※教育長の任期3年、委員の任期4年

(2) 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。令和元年度（平成31年度）においては、定例会を12回、臨時会を2回開催し、議案81件の審議を行いました。

なお、市民への積極的な情報提供を行うため、会議は傍聴でき、また、教育委員会定例会及び臨時会の会議録をホームページにも公開しています。

【議案の審議内容】

審議内容	件数
学校教育及び社会教育に関する一般方針の決定	1件
教育委員会規則その他委員会の定める規程の制定及び改廃	13件
県費負担教職員の任免その他の進退についての内申	1件
使用教科用図書の採択	1件
附属機関の委員その他の非常勤の職員の任免及び委嘱	16件
児童及び生徒の就学すべき学校を指定した通学区域の設定及び変更	13件
議会の議決を経るべき議案	3件
1件2,000万円以上の工事の計画の策定	1件
情報公開	1件
その他特に重要な事項（区域外就学、就学援助、特別支援学級就学）	31件

(3) 教育委員の主な活動状況

ア 学校訪問

市内の小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

【学校訪問の状況】

区 分	対 象	期 日	教育委員の出席状況
小学校訪問	10校	R1. 6. 25~R1. 12. 10	延べ22人
中学校訪問	5校	R1. 6. 19~R1. 10. 4	延べ13人

イ 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研鑽に努めています。

【研修会等の状況】

研修会名	期 日	場 所	教育委員の出席状況
天草郡市教育委員会連絡協議会 総会及び教育委員研修会	R1. 6. 5	天草市	5人
九州地区市町村教育委員会連合 会総会及び第13回研修大会	R1. 8. 1~ R1. 8. 2	大分県大分市	2人
熊本県市町村教育委員大会	R2. 1. 20	熊本市	5人

※研修会の出席状況は、教育長を含む人数で計上

ウ その他の主な会議や行事

会議・行事名	期日	教育委員の出席状況
教職員服務宣誓式	H31. 4. 2	3人
市内小中学校入学式	H31. 4. 9	延べ8人
市内小中学校運動会・体育祭	R1. 5. 19、R1. 5. 26	延べ7人
青少年育成市民大会・社会を明るくする 運動推進大会・人権講演会	R1. 7. 7	3人
北部・南部水泳記録会	R1. 7. 24	4人
上天草部会小学校音楽会	R1. 10. 24	3人
上天草部会中学校音楽会	R1. 10. 25	3人
部落解放第32回熊本県研究集会	R1. 11. 16-17	2人
防災教育研究発表会（松島中）	R1. 11. 19	4人
道徳教育推進校研究発表会（阿村小）	R1. 11. 27	4人
成人式	R2. 1. 3	4人

(4) 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は、次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議内容
奨学生選考委員会	1回	奨学生・特別奨学生の選考
就学指導委員会	2回	心身に障がいのある児童生徒の就学支援
いじめ問題対策連絡協議会	1回	いじめ問題に係る現状報告、情報交換、意見交換
いじめ問題専門委員会	1回	いじめ問題に係る現状報告、情報交換、意見交換
学校運営協議会（各学校開催）	2～3回	学校運営の方針の説明、学校運営にかかる支援・協力及び改善について協議
社会教育委員会	1回	社会教育（生涯学習）全般に係る現状報告、情報交換、意見交換
図書館協議会	2回	図書館運営に係る現状報告、情報交換、意見交換
文化財保護委員会	1回	古墳等の文化財に係る現状報告、情報交換、意見交換

(5) 教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続き等の周知を図り、教育行政の取組に関心をもつていただくため、市のホームページや広報「上天草」を活用し、市民の皆様へ様々な情報を提供しています。

また、イベント等の情報については、防災行政無線を活用するなどし、情報発信に努めました。

なお、教育委員会の定例会や臨時会の会議録についても市のホームページに掲載し、情報提供を行っています。

